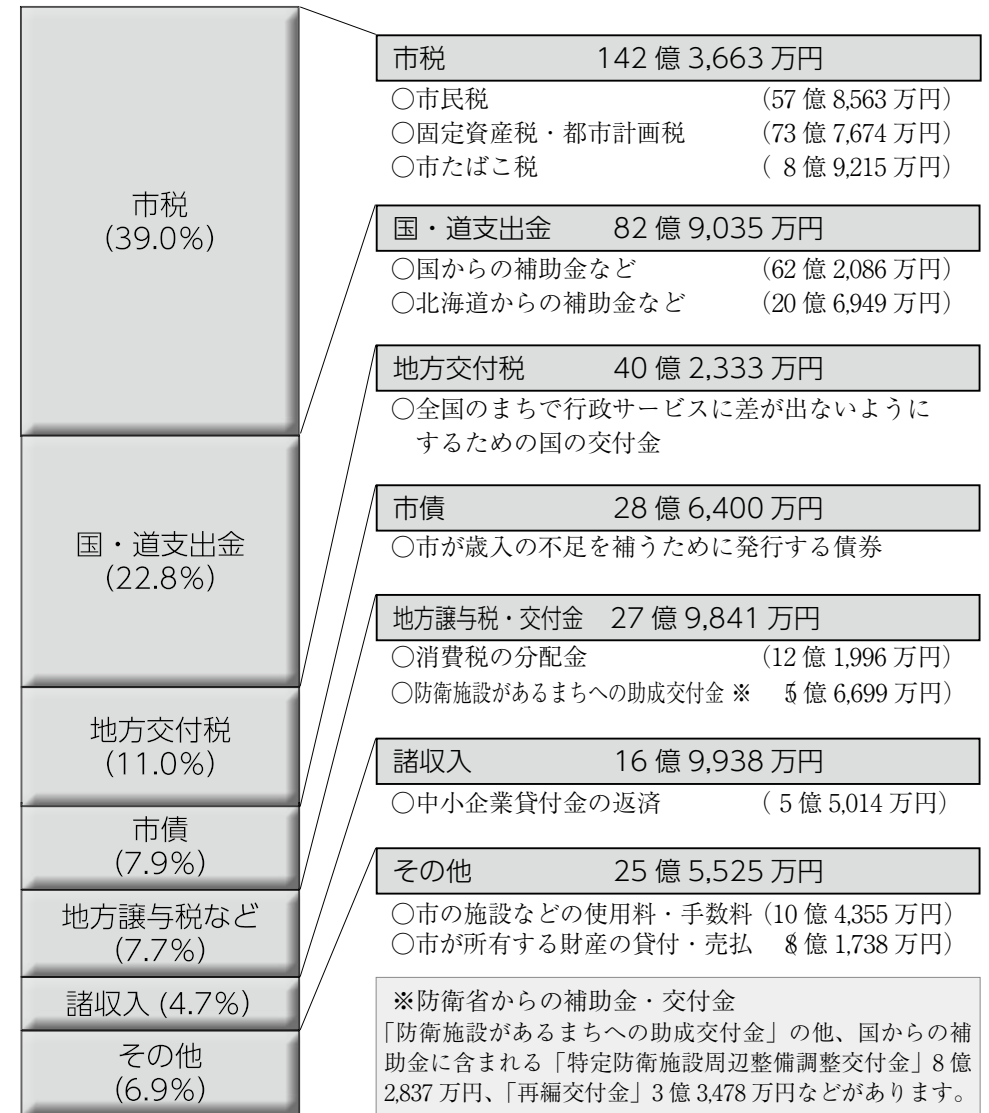


平成26年度 ちとせの 決算

市は、市税など、市に入ってくるお金「歳入」と、事業などに使うため、市から出ていくお金「歳出」を算定して、1年間の予算をつくりまわす。
今の特集は、市の予算が1年間どのように使われ、財政状況はどのようなになっているのか、平成26年度の決算についてお知らせします。

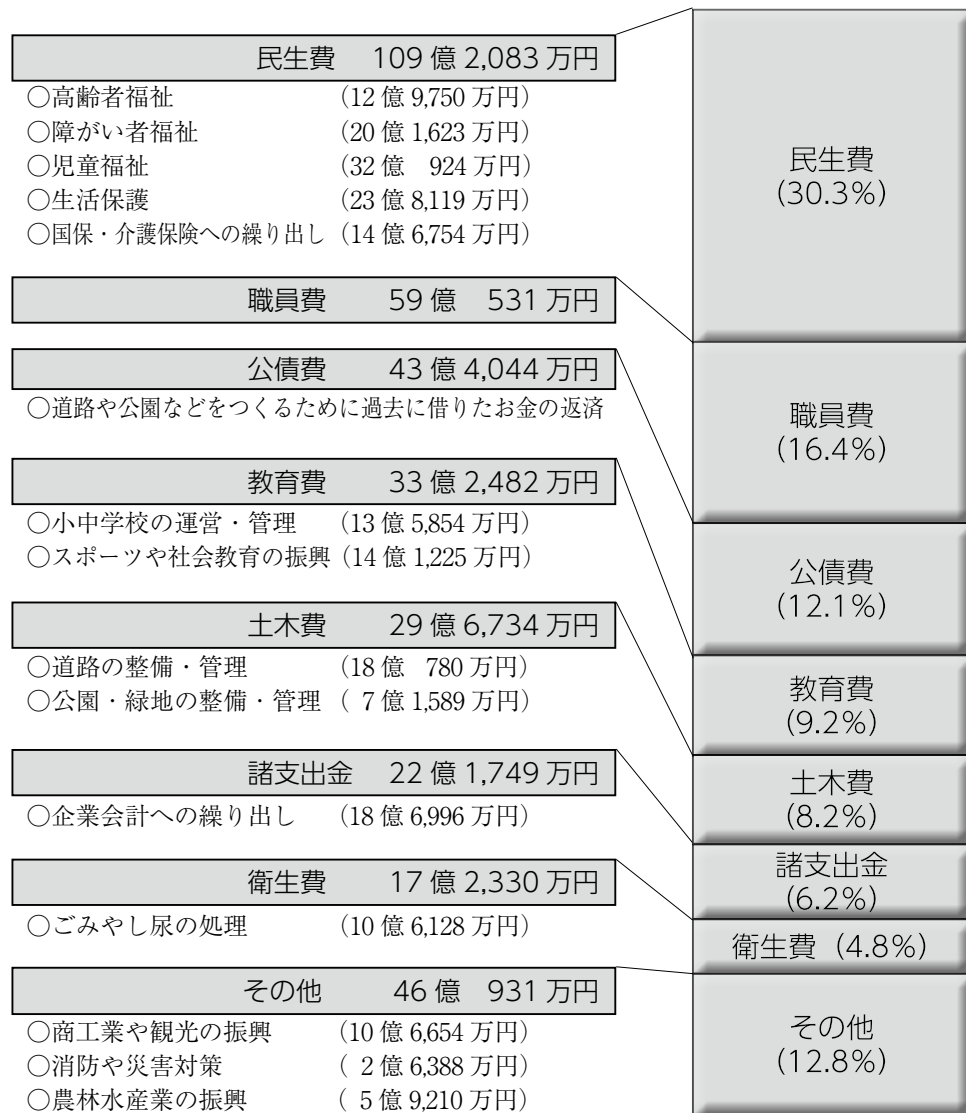
歳入 一般会計 …平成26年度、市に入ってきたお金

決算額 **364億6,735万円**



歳出 一般会計 …平成26年度、市から出たお金

決算額 **360億884万円**



1 一般会計

一番、金額の大きい会計です

上の左右の図は、一般会計の歳入と歳出の状況を表しています。

平成26年度の決算額

歳入	364億6735万円
歳出	360億884万円

差し引き、4億5851万円の黒字になっています。

このうち、1536万円は翌年度の事業費として繰り越すため、実質的には、4億4315万円の黒字になりました。

予算の執行にあたり、経費の節減や業務の見直しなどを行った結果、当初に、収支不足分として見込んでいた基金からの繰り入れをすることなく決算を行いました。

なお、黒字のうち、3億7965万円は、基金に積み立てました。

市の会計には、3種類あります

① 一般会計、② 特別会計、③ 公営企業会計の3つの会計に分けています。

③ 公営企業会計	② 特別会計	① 一般会計
○ 一般の会社と同様、独自の収入で経費を賄う「独立採算」を原則とする会計です	○ 保険料、使用料など、特定の収入がある会計です ○ 収入の使い道が決まっており、収支を明らかにするため、一般会計と分けています	○ 福祉、教育、道路整備など、基本的な経費が中心になります ○ 市民の皆さんが納める税金や国からの地方交付税などの収入で賄われています

平成26年度 主な事業 と 決算額



支笏湖ヒメマスふ化場整備事業
(1億7,325万円)
水産庁「水産業強化対策整備交付金」活用



道の駅リニューアル事業
(1億1,021万円)
「北海道地域づくり総合交付金」および「特定防衛施設周辺整備調整交付金」活用



公営住宅建替事業(みどり団地)
(3,792万円)
「社会資本整備総合交付金」活用



グリーンベルト活性化事業
(2億1,557万円)
防衛省「再編交付金」活用

まちの借金

○学校や公園など、施設の建設には多額の経費が必要になるため、市は、国や銀行などからお金を借りて事業を実施しています。
○借り入れたお金の返済を通して、将来の利用者についても公平に費用負担します。

市が借りているお金(市債)

一般会計	392 億 8,958 万円
特別会計	5,245 万円
公営企業会計	251 億 3,660 万円
合計	644 億 7,863 万円

◎むすびに・・・

平成26年度の一般会計、特別会計は、いずれも黒字決算です。公営企業会計では、水道事業、下水道事業は黒字決算ですが、病院事業は、会計制度の改正により退職給付引当金の不足額を一括計上したこと、多額の特別損失を生じ、赤字決算になりました。

我が国の経済は、「三本の矢」の一体的な推進により、緩やかな回復基調が続いていますが、地方財政にあっては、極めて厳しい状況が続いています。

このような中、市は「財政標準化計画」に基づき、収支バランスの維持と継続を図りながら、安定したサービスの提供と持続可能なまちづくりを目指した財政運営に努めています。

※決算状況などは、市のホームページ、「市政情報」-「財政」-「決算」のページに掲載しています。

この記事のお問い合わせ

**総務部
財政課 財政係
☎(24)0541**

まちの財産

○市は、市政を進めるために必要な財産を持ち、目的に合わせて効率的な運用を行っています。
○財産には、公園などの土地、学校などの土地・建物、有価証券、出資による権利、基金があります。

区分	土地	建物
行政財産	1,279万2,648㎡	46万8,636㎡
公用財産	205万 970㎡	5万2,653㎡
公共用財産	1,074万1,678㎡	41万5,983㎡
普通財産	445万 499㎡	1万7,975㎡
合計	1,724万3,147㎡	48万6,611㎡

○**公用財産**
市役所など、市が直接使用する財産
○**公共用財産**
学校や公園など、市民が使用する財産
○**普通財産**
公用財産・公共用財産以外の財産

有価証券(株券など)	36 億 356 万円
出資による権利(法人への資本金出資など)	3 億 4,309 万円
基金(まちの貯金)	103 億 920 万円

※財産の維持、資金の積み立て・運用のため、目的別に16の基金を設けています。

- 公共施設整備基金 ○財政調整基金 ○奨学基金 ○農業振興基金
- 国民健康保険事業財政調整基金 ○土地開発基金 ○減債基金
- みんなで、ひと・まちづくり基金 ○ふるさと千歳国際交流基金
- 地域福祉振興基金 ○霊園管理基金 ○職員退職手当基金
- 介護保険事業給付費準備基金 ○特定地域振興基金
- 心のふるさと千歳基金
- 特定防衛施設周辺整備調整交付金基金

財政健全化を判断する指標

○「財政健全化法」により、まちの財政状況を表す5種類の指標のうち、ひとつでも国が決めた基準を超えたときは、財政再建に向けた計画をつくるなどの取り組みを進めることとなります。
○平成26年度の決算では、基準を超える指標はないため、財政は健全な状況です。

指標	指標の説明	市の比率	国が決めた基準	
			早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	「市の財政の標準的な大きさ」に対する「公営企業を除いた赤字の総額」の比率	黒字決算	12.45%	20.0%
連結実質赤字比率	「市の財政の標準的な大きさ」に対する「公営企業を含む市全体の赤字額」の比率	黒字決算	17.45%	30.0%
実質公債費比率	「国の補てん分を除いた市の財政の標準的な大きさ」に対する「公営企業を含む借入金の年間返済額」の比率	9.8%	25.0%	35.0%
将来負担比率	「国の補てん分を除いた市の財政の標準的な大きさ」に対する「将来負担する借入金の総額」の比率	86.7%	350.0%	
資金不足比率(公営企業ごと)	「公営企業の資金不足額」に対する「公営企業の事業規模」の比率	該当なし	20.0%	

2

【特別会計】市には、6つの特別会計があり、予算の範囲内で、それぞれの事業をやりくりしています

種別	歳入	歳出	差し引き
1 国民健康保険特別会計 (国民健康保険事業を運営するための会計)	87億8,138万円	85億3,628万円	2億4,510万円
2 土地取得事業特別会計 (公共施設用地をあらかじめ取得するための会計)	3,502万円	3,457万円	45万円
3 公設地方卸売市場事業特別会計 (公設地方卸売市場を運営するための会計)	3,586万円	3,570万円	16万円
4 霊園事業特別会計 (霊園の用地取得や管理運営のための会計)	5,845万円	5,833万円	12万円
5 介護保険特別会計 (介護保険事業を運営するための会計)	41億168万円	41億44万円	124万円
6 後期高齢者医療特別会計 (75歳以上の方などの医療保険制度のための会計)	8億8,887万円	8億8,723万円	164万円
合計	139億126万円	136億5,255万円	2億4,871万円

病院事業 下水道事業 水道事業

業務の状況

市民病院
○入院…5万2,351人(143.4人/日) 前年度に比べて、1,065人、1日平均2.9人減少しました。
○外来…18万168人(738.4人/日) 前年度に比べて、5,058人、1日平均20.7人増加しました。

泉郷診療所
○外来…722人(4.9人/日) 前年度に比べて、26人増加しました(診療日数146日)。

支笏湖診療所
○外来…803人(3.3人/日) 前年度に比べて、131人減少しました(診療日数241日)。

○処理区域内人口…9万3,048人 市が下水道の処理をしている区域内の人口。前年度に比べて、157人増加しました。
○総処理水量…1,963万3,558㎡ 市が下水道で処理した下水の総水量。前年度に比べて、約1.67%減少しました。
○有収水量…1,372万7,095㎡ 総処理水量のうち、下水道使用料収入が得られる水量。前年度に比べて、約0.68%増加しました。
○有収率…69.9% 下水道の総処理水量のうち、有収水量の割合が高いほど良好な指標。前年度の約68.3%に比べて、1.6ポイント増加しました。

○給水人口…9万4,712人 市が水道で飲料水を供給している人の数。前年度に比べて、57人増加しました。
○総配水量…1,180万188㎡ 飲料水として浄水場から送り出された総水量。前年度に比べて、約0.64%減少しました。
○有収水量…1,115万5,584㎡ 総配水量のうち、水道料金収入が得られる水量。前年度に比べて、約0.04%減少しました。
○有収率…94.5% 水道の総配水量のうち、有収水量の割合が高いほど良好な指標。前年度の約94%に比べて、0.5ポイント増加しました。

3

【公営企業会計】市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの公営企業会計があります

決算の状況

収益的収支の決算

収入 58 億 4,049 万円	収入 37 億 1,810 万円	収入 19 億 764 万円
支出 68 億 8,615 万円	支出 32 億 4,556 万円	支出 17 億 4,781 万円

資本的収支の決算

収入 5,000 万円	収入 7 億 9,344 万円	収入 5 億 7,587 万円
支出 9 億 4,793 万円	支出 18 億 4,017 万円	支出 10 億 8,263 万円
内部留保資金残高 7 億 446 万円	内部留保資金残高 14 億 9,409 万円	内部留保資金残高 15 億 73 万円

※内部留保資金は、過去からの利益(黒字)の蓄積によって生じた資金で、事業運営に必要な運転資金になります。

○収益的収支の決算 1年間の事業活動で得られる収益と費用を損益計算の形で表すもので、会社の経営成績

○資本的収支の決算 1年間に支出した施設の建設経費(施設建設のための借金返済などを含む)とその財源となる収入